



「Go to EAT キャンペーン あいち」のご案内 【9/18 速報版】

Go to EAT キャンペーン事業とは？

- ◆農林水産省管轄の施策で、感染予防対策に取り組みながら頑張っている飲食店と食材を供給する農林漁業者を応援するものです。
- ◆施策は下記①、②(裏面)の2本立てとなります。



農水省公式 HP



愛知県公式 HP

①食事券（予算額 767 億円）

プレミアム付食事券(購入額の25%分を上乗せ)が販売され、消費者が購入し、登録飲食店で利用されます。食事券発行事業者は各都道府県によって異なり、商工会議所や商工会の連合体、公募で選定された民間企業が組織する事務局等 様々な形態となっています。

【愛知県での事業内容】

- ・食事券発行事業者は株JTBが事務局として委託を受けています。
- ・食事券は1セット(1,000円券×10枚+500円券×5枚)を1万円で販売されます。
※1回の購入当たり2万円分(額面2万5千円)/人の購入制限があります。
- ・食事券販売・利用開始日は10月16日です。 ※10/8よりwebでの事前受付有
- ・食事券の販売は2021年1月末まで、有効期限は3月末までです。
- ・食事券は愛知県内で80万セット(額面100億円、うちプレミアム分20億円)販売されます。
- ・食事券販売所は県内のファミリーマート各店舗です。
- ・飲食店の食事券取扱店登録は「Go To イートキャンペーンあいち」公式サイトからのweb申請です。
9月16日より登録受付を開始しています。
- ・デリバリー、テイクアウト専門店、接待飲食等営業等、一部登録できない業態のお店があります。



【主な参加メリット】

- ・加盟店手数料や換金手数料はありません。
- ・食事券利用者の受け皿となることで、店舗選択の一因になります。

【主な参加デメリット】

- ・食事券換金に手間がかかる。(食事券の計測、保管、郵送、申請等)
- ・食事券現金化までの時間が必要なため、資金繰りへの影響がある。

～まとめ～

参加メリットが非常に大きい事業だと言えます。同封のチラシをご覧ください、積極的な取扱店登録をお勧めいたします。

②オンライン飲食予約（予算額 767 億円）

オンライン飲食予約サイト(ぐるなび、食べログ、ホットペッパーグルメ等) 経由で、期間中に飲食店を予約・来店した消費者に対し、次回以降に飲食店で使用できるポイントが付与されます。

【全国共通】

- ・昼食時間帯は 500 円分、夕食時間帯(15:00～)は 1,000 円分のポイントが付与されます。
- ・ポイントの種類は予約サイトによって異なります。(T ポイント、ぐるなびポイント、PayPay 等)
- ・ポイント付与の上限は、1回の予約当たり最大 10,000 円分のポイント(予約人数の上限は 10 人)
- ・**事業は 10 月 1 日以降、準備が整った予約サイトから始まります。**
- ・ポイント付与は 2021 年 1 月末まで、利用は 3 月末までです。
- ・予約サイトに**未登録の飲食店は、対象の予約サイトへの新規登録が必要になります。**
(新規登録店のキャンペーン期間中月額基本料は無料)
- ・**予約サイト毎に、送客手数料、利用客が利用したポイント相当分の入金タイミング 等諸条件が異なります。** ※農水省公式 HP(冒頭掲載の QR コード)で確認できます。



オンライン飲食予約サイト一覧

ぐるなび、食べログ、Yahoo!ロコ 飲食予約、一休.com レストラン、EPARK、EPAR グルメ、HOT PEPPER グルメ、favy、トレタ、オズモール、Retty、LUXA、ヒトサラ、Chefle、大阪グルメ

【主な参加メリット】

- ・ポイントが付与されるため、予約での来店が増えます。
- ・ポイントの消費先として来店されます。
- ・予約サイトの検索に掛かることにより、大きな広告効果があります。

【主な参加デメリット】

- ・予約サイトへの登録が必要となります。(キャンペーン期間は無料ですが、各種申込が必要です)
- ・多くの予約サイトで「送客手数料」が発生します。(例:ディナータイムは 200 円/一人 等)
- ・web 上での予約受付、来店確認や、ポイント支払い、キャンセル処理等の受付が必要となるため、**システムに慣れていないと店舗オペレーションに支障が出る恐れがあります。**
- ・複数の予約サイトを登録する場合、重複予約等のトラブルやクレームに注意する必要があります。
- ・ポイント現金化までの時間が必要なため、資金繰りへの影響があります。

～まとめ～

普段から予約サイトに登録し、予約システムに慣れているお店(居酒屋等)は、参加メリットが大きいです。
予約サイトを初めて利用するお店、客単価が低いお店、回転率が高くピークタイムが忙しいお店等は、
本事業の仕組みをしっかりと理解したうえで、参加の是非をご検討ください。